

## 新刊紹介

### 実践的ソフトウェア教育コンソーシアム編

#### 「教育デザイン入門—大学教育とFDプログラム」

オーム社, 2400円 2007年11月発行

近年、情報系の人材教育についての議論が活発に展開されている。実践的ソフトウェア教育コンソーシアム（鶴保証城会長）の神沼靖子副会長（本学会理事）が編著者となってまとめた本書は「実践的な問題解決能力をいかに養うか」という問題意識を出発点として、教師のスキル向上を目的に教育方法論を研究しなおし、教師の使命を果たせる「教育デザイン」の重要性を指摘している。実践的なソフトウェアエンジニアリング教育を行うには、教員自らが教育方法を学んで、新たな方法を生み出していく必要がある。そのために近年、ファカルティ・ディベロップメント（FD）への関心が高まっているが、本書は、FDの進め方や実践例を解説し、大学教員にとって貴重な情報源となっている。

#### <目次>

##### 第一部 実践的な教育デザインの要

- 第1章 継続的な教育の展開を目指す
- 第2章 教育の目標を達成するための”教育分析のすすめ”
- 第3章 教育のプロセスは多様”目指すのは何の設計か”
- 第4章 教育は”どのように実施し評価するのか”

##### 第二部 インストラクショナルデザインとFDプログラムの実施

- 第5章 公開授業を取り入れた
- 第6章 FD参加者の活動
- 第7章 評価基準の設定
- 第8章 FDプログラム終了後の参加者の活動

##### 第三部 FDプログラム実施のための資料

- 資料1 FD参加者の気づきと変化例
- 資料2 データで見るFD参加者のスキルの変化例
- 資料3 書式例